

共に挑む。
共に創る。
共に切り拓く。

創造的なビジネスを



Honda Trading
CORPORATE GUIDE



あなたのビジネスを支え、 未来を創るトータルソリューション

モビリティの進化を支え続けてきたホンダトレーディング。
わたしたちはこれまで、Hondaグループのものづくりと真正面から向き合い、
原材料の調達、生産を支える仕組みづくり、販売、そしてリサイクルに至るまで、
お客さまのバリューチェーン全体を支えてきました。

現場で積み重ねてきたのは、単なる商取引の経験ではありません。
現物に触れ、現実の課題に向き合い、解決への道筋を描いてきました。

今、社会の価値観や産業の姿は、大きく変わりつつあります。
この変化の時代に未来を拓く鍵となるのは、
異なる強みを持つ者同士がつながり、新たな価値を生み出すことです。

わたしたちは、現場で課題を乗り越えてきた経験を原動力に、
従来の枠を越え、価値観を分かち合うお客さまと、新たな挑戦へ踏み出します。

共に挑む。共に創る。共に切り拓く。

世界に広がるネットワークと、積み重ねてきた経験を携えて、
変わりゆく世界のニーズに応えながら、
持続的な価値を、あなたと共に創り続けていきます。

共に挑む。

変化の激しい時代において、挑戦とは未知や不確実性に向き合うことです。
わたしたちは、課題が見えてから動くのではなく、構想の段階から、お客さまと
伴走します。成果だけでなく、試行の過程も分かち合いながら、一社では到達し
得ない領域へ挑む。その姿勢こそが、信頼を育む出発点になると考えています。

共に創る。

新たな価値は、一方から与えられるものではなく、互いの強みが重なり合う
ことで生まれます。わたしたちは、ものづくりを支える機能をつなぎ、お客さまの
技術や想いと掛け合わせることで、解決策を形にしていきます。試行錯誤を
重ねながら、創り上げることを大切にしています。

共に切り拓く。

目の前の課題解決にとどまらず、その先に広がる可能性まで見据えることで、
新たな道が開けていきます。わたしたちは、生み出した価値を事業として根づ
かせ、次の挑戦へとつなげていきます。短期的な成果にとらわれず、お客さまと
歩み続ける未来を見据え、新たな市場や価値の可能性を切り拓いていきます。

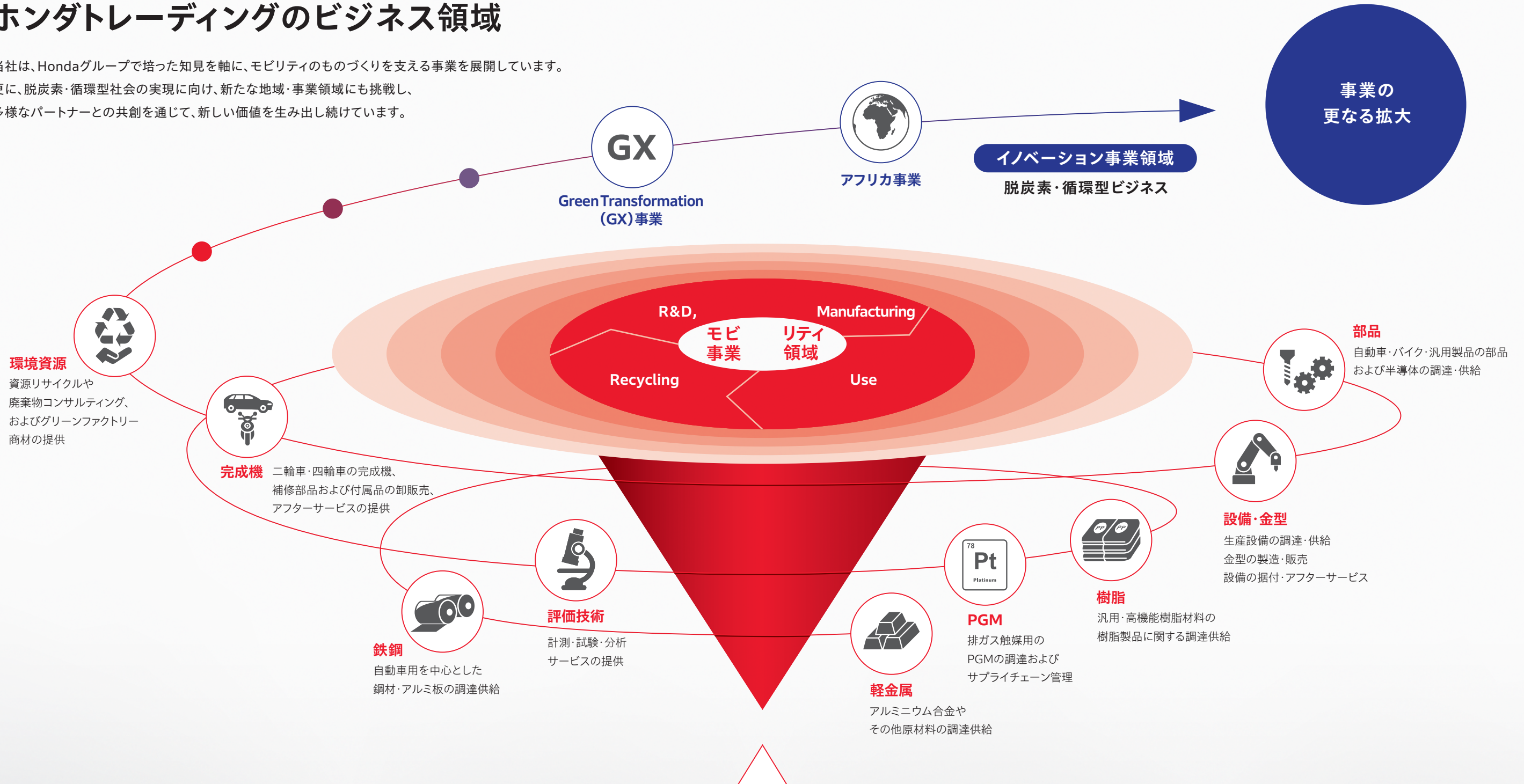
共に挑む。 共に創る。 共に切り拓く。

モビリティ事業領域を中心に、拡大を続ける

ホンダトレーディングのビジネス領域

当社は、Hondaグループで培った知見を軸に、モビリティのものづくりを支える事業を展開しています。

更に、脱炭素・循環型社会の実現に向け、新たな地域・事業領域にも挑戦し、多様なパートナーとの共創を通じて、新しい価値を生み出し続けています。



ホンダトレーディングの
成長エンジン

お客さまとの5つの
共創領域

01 原材料の供給

軽金属、鉄鋼、樹脂、PGM(Platinum Group Metals:白金族金属)の調達および供給
▶ P.05



02 生産支援

生産設備の調達から据付、アフターサービス、生産管理のAI化まで含めたものづくり支援
▶ P.07



03 サプライチェーンマネジメント

多拠点、多品種、変動対応型のグローバル供給網
▶ P.09



04 リソースサーキュレーション

原材料の調達、供給からELV回収、解体、選別、再資源化までのリバースサプライチェーンの構築
▶ P.11



05 地域・事業開拓

脱炭素化社会に向けた環境価値と経済価値を両立した事業モデルの構築と地域開拓
▶ P.13



素材で、ものづくりは動き出す

どれほど優れた設計も、素材がなければ形になりません。生産ラインを止めることなく、必要な原材料を安定して届けること、それがわたしたちの原点です。世界各地の拠点とそれらをつなぐネットワークを活かし、産地や規格、条件を見極めて最適な原材料を選び抜きます。更に、お客さまの仕様に合わせた加工までを一気通貫でつなぐことで、求められるときに、求められるものを確実にお届けする体制を整えてきました。電動化や軽量化、脱炭素化が進む中で、原材料に求められる役割は絶えず変化して

います。案件ごとに必要な性能や条件も異なるため、最適解が一つではない場面も増えています。だからこそわたしたちは、調達や供給にとどまらず、素材特性の分析や検査による品質評価、DXを活用した需給・生産管理の高度化など、多角的な視点から“現場で本当に機能するソリューション”を導き出していきます。原材料の選定から供給、品質評価、再資源化へと続くプロセスを見渡し、お客さまのものづくりが途切れないよう、価値ある素材を確実に届けていきます。

RAW MATERIALS SUPPLY

TOPICS

素材の信頼を支える評価技術サービス

製品の性能や安全性は、目に見えない素材の特性に大きく左右されるため、これらを適切に評価できる仕組みは不可欠です。当社は合併会社のJTLepを活用し、原材料の計測・試験・分析を通じて、新規サプライヤーの原材料や海外製品の第三者評価、量産品の品質課題の分析まで、幅広いニーズに対応しています。専門設備と分析ノウハウを活用し、素材の信頼性を“見える化”することで、素材の品質向上に貢献するパートナーとして、新規領域や異業種との共創にもつなげています。



希少素材「PGM(白金族金属)」の安定供給

PGM(白金族金属)の中でもプラチナ、パラジウム、ロジウムは自動車用触媒を中心に使用される希少な貴金属で、原産国が偏在し需給変動も大きい素材です。複数の調達ルートとリスクヘッジを組み合わせ、調達、在庫、供給までを一元管理。リサイクル資源と新規鉱山由来資源を組み合わせることで安定供給を実現。PGMは自動車以外にも、水素(FC)・エレクトロニクス・石油化学といった領域にも使用されており、モビリティ業界以外のお客さまに対しても調達スキームを含めた幅広いご提案が可能です。

立ち上げから量産まで、確かな生産体制を支える

ものづくりの現場では、生産設備や量産に必要な金型など、様々な要素が絡み合い、多くの工程が複雑につながっています。わたしたちは、その一つひとつに丁寧に向き合い、必要な機能を整えながら、工場の立ち上げから量産、そして安定稼働へと至る流れを支えてきました。設備を導入する場面では、現場の課題を読み取り、メーカー選定から調達、据付、アフターサービスまでを一連の流れとして構築します。その中には、輸出管理や各国の法規制といった高度な専門性が求められるテーマも含まれます。世界の拠点が連動し、“生産を動かすための

仕組み”を切れ目なくつなぐことが、わたしたちの役割です。また、近年は自動化や省人化が進む中で、現場での改善の余地も広がっています。わたしたちはAIを活用した取り組みにも踏み出し、新しい技術が実際の工程にどう機能するのかをお客さまと確かめながら、無理なく適用する形へと整えています。その積み重ねが工程と品質の安定につながり、生産が止まらず流れ続ける環境づくりへと結びついています。お客さまと共に持続的な生産体制を築き、現場の安定から次のビジネスの可能性までを支えていきます。

TOPICS

生産現場を支える一気通貫ソリューション

生産設備や金型、工具、消耗品まで幅広い商材を取り扱い、国内外の調達ネットワークを活かして高品質で最適な設備を提供しています。調達のみにとどまらず、お客さまの課題に寄り添い、ゼロベースでの開拓を含む構想提案から調達、プロジェクト管理、据付、アフターサービスまでを一貫して支援。海外案件を中心に、仕様・予算・輸送・スケジュールを総合的に管理するプロジェクトマネジメント力を強みとしています。更に、グローバルに広がる拠点網と、国際税務・輸出規制を踏まえた高度なコンプライアンス対応により、トラブル時も迅速かつ確実な現場対応を実現。幅広い業界のお客さまからご相談をいただき、様々な生産現場での課題解決に取り組んでいます。

詳しくはこちら



生産管理のAI化で業務効率を革新

スタートアップとの協業により、生産計画のDXを推進しています。例えば、これまで中小規模の部品サプライヤーでは手作業やExcelで生産計画を管理していましたが、AIを活用した効率的な管理システムを導入することで、生産管理の精度向上と業務効率化を実現。原材料事業を通じて培ったグローバルな知見とサプライチェーン最適化のノウハウを活かし、システム導入前の準備から運用まで、お客さまの現場条件に合わせて一貫サポート。製造現場で発生する様々な課題に正面から向き合い、サプライチェーン全体の価値向上へとつなげていきます。



MANUFACTURING SUPPORT

調達から販売まで、世界をつなぐ力

世界各地から集まる部品を最適なルートとタイミングで生産現場へ届けるには、調達・在庫・物流・品質が連動した精度の高い運用が求められます。わたしたちは、この供給網を俯瞰し、状況変動にも強いサプライチェーンを築いてきました。グローバルネットワークを軸に複数の輸送手段や経路を組み合わせ、天候影響や需要の変動にも揺るがない供給体制を整えています。こうした体制をベースに、欧州ルーマニアを中心に二輪・四輪の販売とサービスを担う代理店事業にも取り組み、現地のお客さまへ製品を届けるところまで支えています。

一方、商材は現場で培った専門性で適切なサプライヤーを見極め、SDVの部品を中心に、半導体やセンサー、バッテリー、ソフトウェアなど新たな領域にも対応しています。部品ごとの特性に応じた保管や梱包の工夫、環境に配慮したリターンブル資材の活用など、品質と環境の両面で供給網を支えています。こうした取り組みを積み重ね、コスト・品質・供給力のバランスを整えながら、強くしなやかな供給網を育てています。サプライチェーン全体を見通し、調達から販売までをシームレスにつないでいきます。

SUPPLY CHAIN MANAGEMENT

TOPICS

世界の生産拠点を支えるネットワーク

必要な部品を必要なタイミングで生産ラインに届けるJIT(ジャストインタイム)供給は、当社の大きな強みとなっています。世界各地のサプライヤーから調達した約18,000種類の部品を、約700に及ぶ物流導線で結び、最適な形で供給。完成部品から構成部品まで、形状や特性の異なる部品を一元的に扱っています。拠点・倉庫・輸送手段を組み合わせ、地域や生産条件に応じた供給スキームを設計することで、世界中の「あらゆる部品」を、必要な場所へ安定して届ける体制を構築しています。

● JIT機能 JITによる在庫管理・検品・保管サービス



〈主要JIT拠点〉



供給条件に応じて設計する、最適な梱包・物流ソリューション

取り扱う部品や供給条件を丁寧にヒアリングしたうえで、梱包仕様や物流手法を設計することも重要な役割です。繰り返し使用できるリターンブル梱包資材の導入や、混載による輸送効率の向上、積載を前提とした梱包形状の最適化などを組み合わせ、品質を維持しながらトータルコストの削減を図ります。更に、バッテリーなど特性に応じた保管・輸送条件にも対応。輸送業務を越えて、品質・コスト・環境配慮を踏まえた最適な供給体制を設計・実装することで、お客さまの事業活動を支えています。

素材の知見を強みに、持続可能な循環をつくる

使用済みの自動車や部品を、廃棄ではなく資源として生かす。わたしたちは、この考え方を軸に資源循環に取り組んできました。一度役目を終えたものにも、次のものづくりにつながる可能性が残されています。原材料として再び活用されるまでには、回収、解体、分別、加工といった多段階のプロセスが欠かせません。わたしたちはその流れを設計し、資源がものづくりへ戻っていく道筋を整えてきました。アルミニウム、鉄、樹脂、貴金属など、多様な素材を扱ってきた知見は、この循環を支える力になっています。近年では、鉄道車両のアルミ材を再び

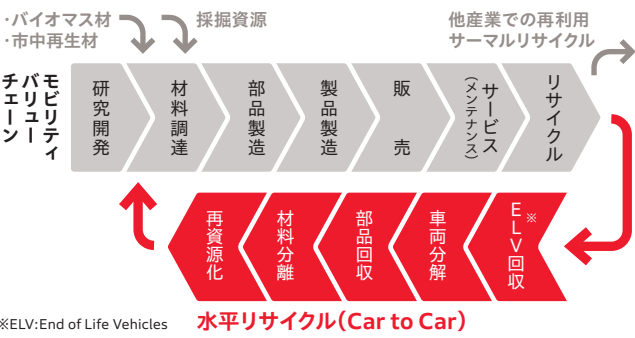
鉄道へ生かす“Train to Train”にも挑んでいます。役目を終えた車両を解体し、素材の特性を確かめながら必要なアルミを選び分け、再生地金としてよみがえらせる。その再生材が新たな車両へとつながる未来を、パートナーと共に探っています。素材が再び動き出し、次のものづくりへ受け継がれていく。その循環を形にし、持続可能な仕組みとして育てていくこと。それが、わたしたちが目指す資源循環ソリューションです。これから、様々なパートナーと連携しながら、新しい循環の未来を巡らせていきます。

RESOURCE CIRCULATION

TOPICS

原材料供給と資源循環の両輪で循環型サプライチェーンを形成

自動車業界では、資源の再活用と環境負荷の低減を目的に、欧州を中心としたELV法規制の強化を背景として、使用済み自動車から回収した資源を高度な再生技術によって再び自動車へと循環利用する「水平リサイクル」が重要なテーマとなっています。こうした流れの中で、当社では、これまで培ってきた原材料の調達・供給機能に加え、使用済み自動車から回収したアルミニウムや鉄、樹脂などを再び自動車製造に活用する「Car to Carリサイクル」のリバースサプライチェーン構築に取り組んでいます。原材料事業ではこれまでアルミニウム・鉄・樹脂・貴金属などをサプライヤーから調達し、適切な品質管理のもとでメーカーへ供給する機能を担ってきました。新たな機能として、使用済み自動車の回収・解体・選別・再資源化加工を効率的につなぎ、リサイクル原料としてメーカーへ戻すスキームを構築するための取り組みをパートナー企業の皆さまと共に進めています。これらの原材料調達・供給機能と資源循環機能の両輪を連携させることで効率的かつ安定した資源循環が可能となり、モビリティ産業全体における持続可能な資源活用に貢献します。



素材の活用を見極める「目利き力」で実現する鉄道車両の水平リサイクル (Train to Train)

1990年代から自動車領域で蓄積されたアルミリサイクルの技術と知見を活かし、パートナー企業さまと合同で地下鉄車両の水平リサイクル「Train to Train」を実現。パートナー企業さまで使用済み車両の解体・選別を行い、アルミニウム合金の製造および販売を担う子会社のホンダトレーディングアルミニウムでアルミ破砕屑を再生地金として新造車両の車両内装部品へ循環利用することに成功しました。使用材料を見極める目利き力と、スクラップ原料の配合・製造のノウハウにより、顧客規格に応える高品位リサイクルを可能にしています。



環境と事業をつなぎ、新しい可能性を拓く

持続可能性や環境への配慮、そしてGX(Green Transformation)の流れは、産業や地域を越えて広がる重要なテーマになっています。わたしたちは“環境によいこと”を掲げるだけではなく、その価値を事業として根づかせ、社会に広げていくことを大切にしています。企業や地域が互いに価値を分かち合いながら成長していけること、それが、わたしたちの考える共創の在り方です。共創は、“まだ実現できていない可能性”から始まります。見過ごされてきた資源や地域に眠る力に目を向け、仮説を立て、検証し、次の道を探る。答えを持ち込むのではなく、パートナーと

同じ目線で向き合い、可能性を形にしていく姿勢を大切にしています。農業残渣を生かしたバイオ炭の取り組みでは、カーボンクレジットによる価値の可視化を取り入れながら、環境価値と経済価値を両立する仕組みづくりに挑んでいます。互いの技術や資源、ネットワークを持ち寄り、再生可能エネルギーをはじめ、これまで踏み入れてこなかった地域や事業領域へも共創の取り組みを広げています。商社として培った知見とネットワークを活かし、社会の課題に寄り添いながら、新しい価値を創出していきます。

REGIONAL AND BUSINESS DEVELOPMENT

TOPICS

カーボンニュートラルに貢献する「バイオ炭」のビジネス実装を構築

バイオ炭は、農業残渣などのバイオマス(生物資源)を炭化し、土壌に施用することでCO₂を長期的に固定する技術です。当社では、このバイオ炭に着目し、製造方法の検討や性能検証から農地での実証までを、共創先である企業や研究機関と共に進めてきました。特徴は、環境への効果検証にとどまらず、地域の実情に付き合いながら事業としての実現可能性を追求している点にあります。これまで活用されてこなかった資源を起点に、パートナーや地域と連携し、新たな価値の循環を生み出していく。バイオ炭は、当社が取り組む価値共創を象徴する実践例の一つです。



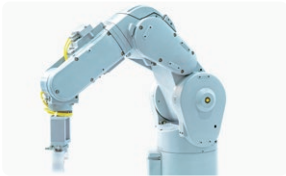
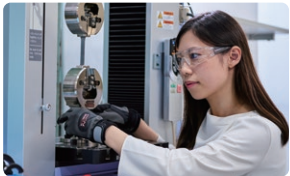
合併会社設立による次世代エネルギー事業の共創加速

高電圧制御分野で開発・生産・品質保証に強みを持つ深圳欣鋭科技股份有限公司と合併会社「欣本新能源(深圳)有限公司」を中国に設立し、新エネルギー事業を推進。蓄電・太陽光・急速充電設備等の開発、製造販売を中心に、技術を担う深圳欣鋭科技股份有限公司と、事業構想力・グローバルネットワークに強みを持つ当社が営業開拓の役割を分担し、アジア・日本地域も含め事業を展開。外部パートナーとの共創を広げながら、経済合理性と環境配慮を両立する持続可能なエネルギー事業モデルの確立を目指しています。

Our Business

事業紹介

わたしたちは、グローバルオペレーションの強みを活かし、原材料の調達から製造、販売、リサイクルまで、お客さまのバリューチェーンを一貫してサポートいたします。

Light Metals 軽金属事業 アルミニウム合金やその原料となる新塊、スクラップ材のほか、シリコンメタル、亜鉛など原材料の調達・供給を実施。アルミニウム合金のグローバル調達とリサイクルの調和など資源循環を大切に、お客さまに最適なソリューションをお届けします。 	Steel 鉄鋼事業 自動車向けを中心に多岐にわたる鉄鋼製品の調達・供給を実施。バリューチェーンを管理し、効率的・高品質なサービスを提供しています。また、電動化や軽量化に対応した新素材、従来の流通にとらわれない新たな付加価値の創出にも取り組んでいます。 	Plastics and Resin 樹脂事業 汎用樹脂材料のほか、フィルム材料や高機能樹脂材料など幅広い樹脂材料の調達・供給を実施。電動化・軽量化などお客さまのニーズを踏まえて最適な樹脂材料をご提案します。 
PGM 白金族金属事業 排ガス触媒用のPGM（白金族金属）の調達・供給のほか、PGMの原材料からキャタリストまで、サプライチェーンを一元管理してお客さまの安定調達に貢献します。 	Parts 部品事業 自動車・バイク・汎用製品やその他産業機器の部品・副資材の調達・供給を実施。企画から一貫したコーディネートによる商物流設計、在庫適正化・適時納入でお客さまの安定調達に貢献し、新規ビジネス拡大など、幅広いニーズにお応えします。 	Equipment, Dies and Molds 設備・金型事業 生産現場において必要とされる各種設備やその周辺品の調達をサポート。更には海外進出調査から設備調達時の輸送、据付工事、保守までのすべての工程において、ご要望に応じた最適なサービスをご提案します。 
Evaluation Technology Services 評価技術事業 お客さまのもののづくりや研究開発における計測・試験・分析の受託サービスを提供。品質・スピード・コストの観点から開発競争力に貢献します。 	CBU 完成機事業 Hondaの社は「地球の視野に立ち、世界中の顧客の満足のために、質の高い商品を適正な価格で供給することに全力を尽くす」に基づき、ルーマニアとモルドバでHonda製品の卸販売を実施。それらの活動を通じてブランド認知拡大に貢献します。 	Environment Resources 環境資源事業 自動車販売店から排出される廃棄物のリサイクル、産業廃棄物処理のコンサルティングのほか、製造業向けの環境貢献サービスの提供など、CO₂排出削減に向けたソリューション提案を行っています。 

Global Network

グローバルネットワーク

世界中をカバーする物流網が安定供給を可能に。また、製品の種類や需要の変化にもフレキシブルに対処できる変動対応型の供給体制を実現しています。

Japan

国内



● 本社 ● 国内営業所 ● 子会社 ● 関連会社

〈本社〉
株式会社ホンダトレーディング
本社：東京
国内営業所（栃木、鈴鹿、福岡、熊本）



Photo:©Forward Stroke Inc.

〈関連会社〉
JT Lep株式会社<栃木>
(計測・試験・分析サービス)

〈子会社〉
株式会社ホンダトレーディングアルミニウム
(アルミニウム合金の製造および販売)

群馬工場(本社)

埼玉工場

熊本工場

Global

海外





欧州

中国

北米・南米

中東・アフリカ

アジア

北米・南米

＜アメリカ＞
Honda Trading America Corp.
カリフォルニア,オハイオ,
インディアナ,サウスキャロライナ,
アラバマ
＜カナダ＞
Honda Trading Canada Inc.
オンタリオ
＜メキシコ＞
Honda Trading de Mexico
S.A. de C.V.
グアダラハラ,ケレタロ
＜ブラジル＞
Honda Trading Brasil Ltda.
スマレ,マナウス,サンタカタリーナ

＜アラブ首長国連邦＞
ドバイ駐在員事務所
株式会社ホンダトレーディング
ドバイ

欧州

＜ドイツ＞
Honda Trading Europe GmbH
フランクフルト
＜イタリア＞
Italy Branch
Honda Trading Europe GmbH
アテッサ
＜ルーマニア＞
Honda Trading Romania S.R.L.
ブカレスト
中東・アフリカ

中国

本田貿易(中国)有限公司
広州,重慶,深圳
本田貿易(華南)有限公司
香港
上海本田貿易有限公司
上海
武漢本田貿易有限公司
武漢
広州珠鉄金属制品有限公司
広州
欣本新能源(深圳)有限公司
深圳

アジア

＜タイ＞
Honda Trading Asia Co., Ltd.
バンコク,ロジャーナ,プラチンプリ
HT Supply Chain Solution (Thailand) Co., Ltd.
バンコク,ロジャーナ
＜インドネシア＞
PT. Honda Trading Indonesia
ジャカルタ
PT. Molten Aluminum Producer Indonesia
カラワン
＜台湾＞
Taiwan Honda Trading Co., Ltd.
台北,高雄
＜韓国＞
韓国支店 株式会社ホンダトレーディング
ソウル
Ulsan Engineering Co., Ltd.
ウルサン

＜ベトナム＞
Honda Trading Viet Nam Co., Ltd.
ハノイ,ホーチミン
＜マレーシア＞
Honda Trading Malaysia Sdn. Bhd.
セランゴール,ペナン,マラッカ
＜フィリピン＞
Honda Trading Philippines Corp.
Honda Trading Philippines Ecozone Corp.
ラグナ
＜インド＞
Honda Trading Corporation India Pvt. Ltd.
グルグラム,バンガロール,グジャラート
Rajasthan Prime Steel Processing Center
Pvt. Ltd.
ラジャスタン
＜パキスタン＞
Pakistan (Lahore, Karachi) Office
Honda Trading Asia Co., Ltd.
ラホール,カラチ

※2026年4月時点

15

16

Sustainability

サステナビリティ

[詳しくはこちら](#)



わたしたちは、全ての企業活動を通じて、人々の健康の維持と地球環境の保全に積極的に寄与し、その行動によって社会の持続的発展に貢献することを目標とし、その達成に努めます。

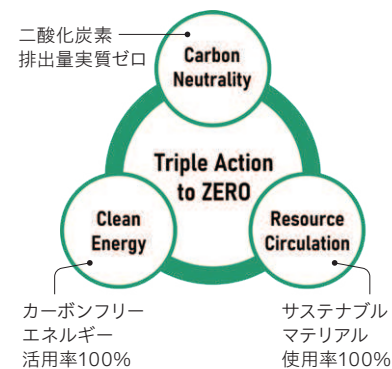
Environment

環境への取り組み



環境負荷ゼロ社会をめざす コンセプト Triple Action to ZERO

環境負荷ゼロ社会の実現を目指した活動は「カーボンニュートラル」「クリーンエネルギー」「リソースサーキュレーション」の3つをTriple Action to ZEROとして取り組み、それぞれの連鎖を考慮してシナジー効果の最大化を目指していきます。



Social

社会への取り組み



人権への取り組み

ホンダトレーディングは、人間尊重(自立・平等・信頼)と三つの喜び(買う喜び・売る喜び・創る喜び)を基本理念として、全ての事業活動を人権尊重を前提に取り組み、多様性や個々の個性と能力を認め、多様な人材の活躍を目指していきます。

社会貢献への取り組み

次の世代に恵み豊かな自然や夢を描き、モノをつくる楽しさ、安全な交通社会を手渡していくために、地域に根ざした活動をはじめ、地球環境保全、子ども達の育成支援、交通安全の教育・普及の分野で様々な活動を進めていきます。



Governance

ガバナンスへの取り組み



コーポレートガバナンス

当社は、会社の業務執行に対する責任と権限を執行役員や執行責任者に委譲し、取締役が監督機能に重きを置くことにより適切な牽制のもと、効率的な経営をしています。

コンプライアンス

Hondaグループで働く一人ひとりが実践すべき誠実な行動としてまとめた「Honda行動規範」をホンダトレーディンググループの全役員および従業員に共有し、グループ全体で遵守してまいります。

リスクマネジメント

リスクマネジメントに関する基本方針・運用基本ルールを定め、リスク管理委員会を定期的開催し、リスク評価および対策の確認を実施しています。



HT 2040 Global Vision グローバルビジョン

わたしたちホンダトレーディングは、人と社会の豊かな未来の実現と、地球との共生による持続可能な社会への貢献を目指し、HT 2040 Global Visionを制定しました。

SLOGAN



Think new,
Design for tomorrow

先行き不透明で将来の予測が困難な時代において、わたしたち一人ひとりが新たな視点と新たな発想で考え、新しい未来を描いていくということを、このスローガンに込めています。

STATEMENT

人と技術と地球が調和した
持続可能な未来の実現に向けて
新たな価値の創造と提供に
挑戦し続けます

ホンダトレーディングの歴史

History of Honda Trading

常に新たな市場を探索し、常に新たな流通機構の開拓を目指して、50年以上にわたり紡いできたわたしたちの歴史は、未知と向き合い続けてきた時間そのものです。そして今、先行き不透明なこの時代に求められるものこそ、未知をおそれずに挑む姿勢。設立から変わらないベンチャースピリットと、幾多のビジネスを支えてきた戦略とノウハウを武器に、ホンダトレーディングの挑戦の物語は続いています。

1970s

1972年

株式会社アクト・トレーディング設立

(本田技研工業株式会社100%出資)

1973年

CAFEXシリーズ販売開始

<1977年グッドデザイン賞 受賞>

1974年

ローラースルー GOGOの製造販売



- アメリカに拠点設立
- Honda工場向け原材料の輸出開始
- アルミニウム合金インゴットの輸出入開始
- 機械設備の輸出入開始

1980s

1980年

生体牛・アクト牧場の営業権譲受

1988年

ニュートンワインの輸入販売開始

<1999年度ジャパン・インターナショナル・
ワインチャレンジ アメリカワイン最優秀賞 受賞>

1988年

商号を株式会社ホンダトレーディングへ



- PGM(白金族金属)の取り扱い開始
- 日本にて鉄鋼メーカーから一次問屋の指定を受ける
- 印刷紙取り扱い開始
- 自動車資材・部品の輸入開始

1990s

1994年

急速な海外展開

12の国と地域に新たな拠点を設立

アルミニウム溶湯工場設立



- 樹脂の取り扱い開始

2000s

2006年

製造領域や販売領域へ進出、

バリューチェーンを拡大

アルミニウム溶湯をはじめ、鉄鋼加工、金型、

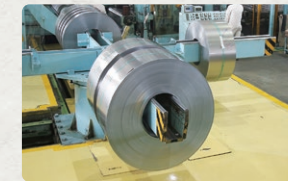
検査治具などの製造会社の設立に加えて、

完成機卸売りを開始

2007年

ルーマニアで完成機卸売開始

インドに鉄鋼加工会社を設立



- 新たに7カ国に拠点設立
- 中国・インドに鉄鋼加工会社設立
- 韓国に検査治具製造会社設立
- 中国に金型製造会社設立
- インドネシア・中国にアルミニウム溶湯製造会社設立
- 東京税関よりAEO制度-特定輸出者として認定(以降、一部海外拠点においても各国にて同様の認定取得)

2010s

2010年

グローバルマーケティング機能を強化

ドイツ、韓国、バングラデシュ、アラブ首長国連邦に

進出し、新たなサプライチェーンの構築や

ビジネスシーズの開拓を推進



- HTの企業理念 改定

2020s

2021年

HT 2040 Global Vision 制定

評価技術サービス会社設立



- 2022年3月 創立50周年
- HT 2040 Global Vision 制定
- 中国に蓄電・充電関連製品の販売会社設立
- タイに物流関連サービス会社設立

世界に広がるお客さまに、仲間と共に

お客さまを信頼でつなぎ、満足と喜びをお届けします。存在を期待される企業を目指して、夢を原動力にチャレンジを続けていきます。

[詳しくはこちら](#)

